

回復期リハビリテーション病棟における実績指数向上にむけた検討

1. 研究の対象

2017 年度に当院回復期リハビリテーション病棟を退院した患者

2. 研究目的・方法

目的: 回リハ入棟時に得られる急性期在院日数、回リハ入棟時 FIM 運動項目得点、回リハ入棟時 FIM 認知項目得点、入棟時年齢と実績指数に有意な相関関係があるか調査すること。実績指数の予測精度が向上すれば実績指数向上につながる。また患者にとっても予後予測 (FIM) 精度向上は自立支援に向けた介護サービスの調整など早い段階から検討できることや、どのような患者の実績指数 (FIM) が向上しにくいかわかることで、患者の個別性に応じたリハビリ方法の提供や、さらなる FIM 獲得に向けた検討につながると思われる。

方法: 急性期在院日数、入棟時年齢、入棟時 FIM 運動項目得点、入棟時 FIM 認知項目得点と実績指数に有意な相関関係があるか調査する。

3. 研究に用いる試料・情報の種類

情報: 急性期在院日数、回リハ入棟時 FIM 運動項目得点、回リハ入棟時 FIM 認知項目得点、入棟時年齢と実績指数

4. お問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら下記の連絡先までお問い合わせ下さい。

ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報及び知的財産の保護に支障がない範囲内で、研究計画書及び関連資料を閲覧することが出来ますのでお申出下さい。

また、試料・情報が当該研究に用いられることについて患者さんもしくは患者さんの代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としませんので、下記の連絡先までお申出ください。その場合でも患者さんに不利益が生じることはありません。

照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先：

京都中部総合医療センター 患者相談係

研究責任者：

京都中部総合医療センター リハビリテーション科副部長 川辺 康司

-----以上